

事務事業評価表（一般事業）

評価対象年度	令和 元 年度
1次評価日（主幹等）	2年3月31日
2次評価日（課長等）	2年3月31日

1 事業名	保育園管理事業	コード	1106
-------	---------	-----	------

2 担当部課	部等 健康福祉部	課等 子ども課	作成者 宮澤俊一
--------	----------	---------	----------

3 事業概要	目的体系	基本目標	ともに支えあい、健やかに暮らせるまち		
		政 策	子ども・子育て支援の推進	施 策	子ども・子育て支援の推進
		予算科目	保育所管理運営費	業務委託	なし（直営）
		実施義務	あり（義務的・標準的事業）	国県補助	あり
		根拠法令	児童福祉法第10条、第24条		

●事業の内容（D0）

4 事業の概要等		*対象者（誰のため）、意図（どのような状態にしたいのか）		
事業の概要 （簡潔に）	保育が必要な児童およびその保護者のために、保育園における児童の保育を通して、生命の保持と情緒の安定や心身の発達を図るとともに、保護者の子育てと就労の両立支援を図る。			
目的	対象者	児童及び保護者		
	意 図	児童の心身の発達を図るとともに、保護者の子育てと就労の両立支援を図る。		

5 事業の実施内容		*元年度に、いつ・どこで・誰が・何を・どのように行ったか、という具体的な内容		
<ul style="list-style-type: none"> 年間を通じて、保育を必要とする児童に対し保育園で保育を行った。 私立保育園や市外保育園へ入所を希望する児童について、各施設へ保育を委託した。 私立保育園の特別保育や子育て支援サービス等に対して、補助金を交付した。 幼児教育・保育の無償化に伴い、令和元年10月から全ての3歳以上児と市民税非課税世帯の3歳未満児の保育料を無料とした。 多子を養育する世帯に対し、副食費を減免・免除を実施した（令和元年10月から）。 全ての保育園の保育室及び遊戯室にエアコンを整備した。 公立保育園の施設と設備の維持管理や必要な修繕、備品の整備を行った。 児童の健康診断や保健だよりの発行、健康相談を実施した。 保育の質向上のため、保育園職員研修を行った。 特別保育として未満児保育、長時間保育、一時保育、休日保育を実施した。 3歳以上児、3歳未満児ごとに質、量を考慮しながら献立を作成し、提供した。 食物アレルギーのある児童に対しては、除去食等を提供した。 世界にタッチ英語に触れよう事業や、ぼくもわたしもおかやっ子事業などの施策を展開した。 				
前年度の課題への対応				

6 指標の達成状況		*活動指標：この事業の規模、成果指標：この事業によって得られる住民の満足度			
区分	29年度	30年度	元年度	2年度(予算)	
① 活動指標（指標名）	管理保育園数			単位	園
実績値	14	13	13		
*指標の説明	市立保育園管理数				
② 成果指標（指標名）	年間保育日数			単位	日
目標値	293	293	293		
実績値	293	293	293		
達成度	100.0%	100.0%	100.0%		
*指標の説明	年間保育日数				
*目標値の設定方法の説明	休日、祝日を除く日数				

7 ア) コストの推移

* この事業にかかる費用（人件費は、1人あたり年間800万円で換算）

[単位：円]

区 分	29年度	30年度	元年度	2年度(予算)
① 直接事業費	634,085,127	585,379,742	641,744,442	692,192,000
経常経費	634,085,127	585,379,742	641,744,442	692,192,000
臨時的経費	0	0	0	0
* 臨時的経費の説明				
区 分	29年度	30年度	元年度	2年度(予算)
② 人件費	674,400,000	626,400,000	634,400,000	634,400,000
正規職員の人数(人)	84.30	78.30	79.30	79.30
③ 合計コスト(①+②)	1,308,485,127	1,211,779,742	1,276,144,442	1,326,592,000
前年度比		92.6%	105.3%	104.0%
財源				
一般財源	908,677,207	799,757,973	815,522,367	997,798,000
内訳				
特定財源	399,807,920	412,021,769	460,622,075	328,794,000
* 特定財源の説明				
④ 活動一単位あたりコスト	93,463,223	93,213,826	98,164,957	
前年度比		99.7%	105.3%	
⑤ コストに関する補足説明				

イ) 補助金負担金の状況

[単位：件、円、%]

補助金負担金名		29年度	30年度	元年度	2年度(予算)
研修会等出席負担金	件数	7	6	7	8
	金額	106,000	121,000	140,000	147,000
無線電波利用負担金	件数	14	14	14	12
	金額	7,560	6,300	6,300	6,480
防火協会負担金	件数	14	13	12	12
	金額	28,000	26,000	24,000	24,000
学校責任者賠償責任 保険等負担金	件数	1	1	1	1
	金額	120,076	120,075	120,075	127,000
県保育連盟負担金	件数	1	1	1	1
	金額	323,900	265,700	288,000	289,000
日本スポーツ振興セ ンター負担金	件数	1	1	1	1
	金額	363,880	316,255	304,520	330,000
ボランティア保険負 担金	件数	14	14	12	24
	金額	4,900	4,900	4,200	9,000
地域型保育給付費負 担金	件数		3	4	4
	金額		29,773,680	35,097,030	36,954,000
聖ヨゼフ保育園補助 金	件数	1	1	1	1
	金額	15,469,407	13,622,056	12,569,635	24,229,000
ひまわり保育園補助 金	件数	1	1	1	1
	金額	15,835,544	15,826,419	17,323,060	18,273,000
きらり岡谷市民病院 園補助金	件数	1	1	1	1
	金額	566,100	1,801,900	2,126,900	1,204,000
多子世帯副食費支援 補助金	件数				366
	金額				1,093,500
ア)の①に含まれる負担金 等合計金額及び割合	合計金額	266,536	278,275	294,575	313,480
	割合	0.04%	0.05%	0.05%	0.05%

* 行が足りない場合は追加してください

●事業の評価 (CHECK)

8 妥当性評価		*妥当性=行政がこの事業を行う必要性はあるか。		妥当性	高い
評価項目				はい	いいえ
①	現時点で、税金を投入して積極的に関与すべき重要な分野である。			1	
②	民間（企業、NPO、市民団体等）へ委ねることが難しく、市が行う必要がある。			1	
③	民間（企業、NPO、市民団体等）が行うサービスと類似・競合していない。			1	
④	国・県の事業、市が行っている他の事業と類似・重複していない。			1	
⑤	この事業の効果は広く市民に還元され、特定者の利益にはなっていない。			1	

9 有効性評価		*有効性=成果指標（項目7/住民の満足度）は向上しているか。		有効性	高い
評価項目				はい	いいえ
①	この事業が属する施策において、この事業の優先度が高い。			1	
②	社会情勢の変化や市民ニーズを把握し、今年度の事業内容に反映した。			1	
③	この事業の目的を達成する上で、現在の方法が最も効果的で低コストである。			1	
④	この事業の利用者が増加した。	成果指標の実績値	前年度比 100.0%	1	
⑤	年度当初に期待した成果が得られた。	成果指標の目標値	達成度 100.0%	1	

●改善の内容 (ACTION)

10 具体的な課題と改善	
課題	<p>(少ない費用で効率的に事業を行い、市民サービスを向上させる上で、現在課題になっていること)</p> <p>少子化の影響により、入所児童数が減少傾向にある中で、子育て世代の就労環境の変化等により、未満児の入所は増加傾向にあり、保護者のニーズが多様化している。 施設が老朽化している園もあり、保育園の管理運営の効率化が求められている。</p>
改善方法	<p>(上記の課題をふまえて2年度以降に実施する、具体的な改善の内容)</p> <p>「岡谷市保育園整備計画」に基づく計画的な保育園整備に取り組み、保育環境の整備と、保育サービス・機能の充実を図っていく。</p>
改善開始時期	平成31年4月～

●次年度の計画 (PLAN)

11 次年度の方針	継続して実施	12 施策評価による2年度の優先度 *H30年度施策評価表より転記すること	B
-----------	--------	--	---